

10月11日(土) 12日(日)

## 親鸞聖人報恩講

# 光寿院釋尼瑠璃 33回忌法要 玉永寺門信徒物故者追弔法要

兼修いたします。

皆様の参詣を心からお待ちしております。

- 11日 13時半 報恩講速夜  
法話 土肥人史氏 (滑川市安田 正楽寺住職)
- 12日 9時半 報恩講日中  
法話 三島多聞氏 (高山教区 真蓮寺住職)



1944年(昭和19)、岐阜県高山市に生まれる。京都外国語大学卒業後、大谷大学大学院仏教学修士修了、台湾・師範大学研究院国文科留学。中村久子女史顕彰会会長。NHK「このころの時代」・日本テレビ「知ってるつもり」などに出演。

- 12時 昼食
- 13時 法話
- 13時半 光寿院釋尼瑠璃 33回忌法要・門信徒物故者追弔法要  
法話
- 終了 15時半～16時頃

### 玉永寺通信

発行所 富山市水橋小出 52 真宗大谷派玉永寺 TEL 076 (478) 0846  
HP <http://www.gyokueiji.net/> Facebook <https://www.facebook.com/gyokueiji>

# 玉永寺通信

2014.8  
第46号

ぜひ家族のみなさまでお読みください



7月31日、東京都品川区豊葉の杜学園と地元の上条小学校の生徒70名が、交流事業の一環として今年も前坊守の戦争体験の話を聴きに訪れました。

### 母の三十三回忌ごよせつ

母が玉永寺に嫁いだのは昭和12年の夏でした。一週間後、25世住職は日中全面戦争の戦地に召集され、一ヶ月後に戦死されました。弟が26世住職となり母と結婚し、私が生まれました。間もなく、第二次世界大戦が勃発し、父は昭和16年に戦地に出征しました。

東京より集団疎開児童を50名受け入れ、親類縁者の方も寺に疎開され、食糧難などに苦しみ、誰もが生きるのに精一杯でした。母は子どもたちの世話、住職代務の仕事に追われ、肋膜炎を患いました。

昭和20年8月15日終戦。父は8月23日、パラオ諸島で餓死しました。

それから母は門徒さんと共に寺を支え、昭和58年元旦に、お浄土へと還っていきました。

63歳、戦争に翻弄された一生でした。

私の家族だけではなく、戦争によって多くの方々がたくさん悲しみを背負いました。今、聞法させていただく幸せを思い、すべての方々に感謝したい気持ちで、この度の法要を迎えます。

前坊守 石川千穂子



4月12日 子ども会送別会



友だちを誘って少人数の会を支えてくれた3人を送り出して、前住職から続けてきた子ども会を休会することになりました。この3人には感謝してもしきれません。少子化は本当に寂しいです。



富山別院御遠忌法要

富山東別院で親鸞聖人750回忌法要が開催されました。これに先立って百人百話という法話会も別院で行われ、4月5日には前任職、8日には住職がお話ししました。

5月23〜25日の御遠忌法要の際に、私は3日間堂内係を勤めました。また、神田の柳瀬正俊さんが稚児係をしてくださいました。

玉永寺から24日には黒澤清隆、公子夫妻、柳瀬庄一、久美子夫妻（横越）、竹田浩美さん（富山）、福田弘美さん（安田）の6人の方が帰敬式を受けられ、26日には16人がバスで団体参拝を行いました。盛大な法要となりました。

今も総曲輪の東別院では水曜日の夜と日曜日の昼に定例法話が行われています。機会があればぜひお参りください。

10月7日（火）午後より 富山東別院で帰敬式（おかみそり）が執行されます。

受式ご希望の方は9月10日までに、玉永寺にお申し込みください。

4月26日 同朋の会

毎月第4土曜日、午後2時から開催しています。テキストは「書いて学ぶ親鸞のことば 正信偈」です。日頃のお勤めで使う正信偈の解説と、なごやかな座談会をしています。9月の開催の後お休みにはいり、来年3月から再開します。ぜひお気軽にご参加ください。



6月7日・8日 祠堂経法要



初日は住職が、2日目は渋谷行成さん（富山教区 駐在教導）に法話していただきました。渋谷さんのお話は、桃太郎の鬼退治を題材とするなどして、とても分かりやすく、好評でした。多くの方々に参詣していただきました。

6月23日 同朋大会

富山教区第11組同朋大会を開催しました。大谷派の同朋会運動推進のための大会で、持ち回りで今年は玉永寺が会場でした。講師は仁愛大学名誉教授、養輪秀邦さんです。90人の方々が参加され、盛大に開催されました。

